

説明・同意書

私は、患者(または)代理人 @PATIENTNAME 様に対して、下記手術・検査・麻酔の必要性、危険性及び合併症等について、次のように説明いたしました。

手術・検査等の名称 腎部分切除術

説明の内容

1. あなたの病気や病状について: あなたの病気は、腎臓にできた腫瘍で、悪性の腫瘍が疑われます。この病気には、抗癌剤や放射線治療はあまり有効ではなく、手術によって腫瘍を摘出するのが最も有効な治療法です。転移のない場合には、手術で腫瘍を摘出することにより、病気が完全に治る希望があります。一方、転移のない場合でも、術後に再発することがありますので、定期的な検査が必要です。

2. 手術・検査の目的、必要性や有効性: 手術により、腫瘍を完全に切除して、病気を完全に治すことが目的です。また、腎臓を部分的に切除するので、残った腎臓が機能します。

3. 手術・検査の内容と注意点:

麻酔方法

全身麻酔で行います。また、術後の痛みを少なくするために背中よりチューブを入れることもあります(硬膜外麻酔)。

手術方法

腎臓にできた腫瘍を、周囲に正常の組織を約1cmつけて摘出します。

手術方法には、開放手術と内視鏡手術(腹腔鏡手術)があります。開放手術は傷が大きく、術後回復に期間を要しますが、昔から行われている標準的な手術方法です。

開放手術では、肋骨の上を15cmほど切開し、肋骨を一部切除して手術操作を行います。

腎臓をよく観察して、エコー検査などを手術中に行い、腫瘍の位置を確認して、腫瘍に切り込まないようにして、腫瘍の周りに約1cm程度の正常の腎臓をつけて、腫瘍を摘出します。腫瘍のできている場所や、大きさにより部分切除術が適応と思われた症例に限り行います。

根治的腎摘除術との比較

腎臓の腫瘍に対する手術には、腫瘍だけを摘出するのではなく、腫瘍のある腎臓全体を摘出する方法(根治的腎摘除術)もあります。

部分切除術を選ぶには、大きさ、腫瘍の部位に制限があります。一般的に外側に突出してできる腫瘍では、ある程度の大きさまで、部分切除術を行うことが可能ですが、腎臓の内側にできている場合は、部分切除術が難しくなることが多いです。

部分切除術では、残った腎が機能するので、術後に腎機能が低下するおそれが少ない長所があります。そういう点で、反対側の腎臓の機能が低下している方には最も適した手術方法といえます。一方、短所として、残された腎臓に癌が再発するおそれがあります。一般には数%の危険性と考えられています。

あなたの場合、腫瘍の大きさ、位置、反対の腎機能などから、腫瘍だけを摘出するのが最も適切考えられます。手術の途中に、出血や尿漏れ、さらに腫瘍を完全に切除するために、予定を変更して腎臓全体を摘出しなければならないことがあります。

また、小さな腫瘍の場合、最終的な病理検査の結果が良性であることも考えられます。

4. 手術・検査の危険性とその対応：

ほとんどの手術は安全に行われ、術後の順調に回復されますが、100%安全に手術ができるとは限りません。低い確率であっても、何らかの合併症が発生する可能性のあることをご理解下さい。考えておかなければならない合併症には次のようなものがあります。

【出血】 輸血が必要となる場合があります。

【他臓器の損傷】 胆嚢、脾臓、膵臓、腸管などを術中に傷つける可能性があり、その場合にはそれらの臓器の摘出を含め、適切に処置しなければなりません。

【尿のもれ】 尿が腹腔内や後腹膜腔に漏れ出すことです。再手術が必要になる場合があります。

【気胸】 肺を包む胸膜に傷がつき、肺の周りに空気が入った状態です。胸部に管を入れる操作が必要になったり、再手術となることがあります。

【術後の腸閉塞、腹膜炎】 術後に、腸管の動きが悪かったり、腸管が癒着したりして、腸閉塞の状態になることがあります。のどから管を入れるなどの処置や、場合によって再手術が必要になることがあります。また、術後に腹膜炎が発症し手術が必要となることがまれにあります。

【腹壁癒痕ヘルニア】 手術時には創部はしっかりと縫いますが、手術後数週間から数年を経てから、お腹の中の腹壁の筋肉部分が開いて、胃や腸が皮膚のすぐ下にまで飛び出すことがあります。これを腹壁癒痕ヘルニアと言います。腹壁は胃や腸が外に出ないように支えている役目をしているので、腹壁癒痕ヘルニアになると、横に寝ているときはお腹が平らになることが多いのですが、立ったときに腹圧がかかり、ヘルニアの部分がポコッと出っ張ります。これによって腹痛や食べ物の通過障害を起こすこともあります。腹壁癒痕ヘルニアの程度が強い場合や症状が強い場合は手術によって治療することになります。

【術後の肺梗塞】 おもに足の中で血液が凝固し、これが血液の中を流れて肺の血管を閉塞する、重篤な合併症です。まれな合併症ですが、死に至ることもあります。

【根治的腎摘出術への変更】 手術中、正常部分と腫瘍との境界がはっきりしない場合や、出血が多くなった場合は、腎臓そのものを摘出する可能性があります。

【術後腎機能低下】 残した腎臓の機能が、術後に予想以上に低下することがあります。その他、通常の開腹手術でも起こりうる合併症として、術後性肺炎が発症したり、創感染で創が開いたり、筋膜が開いて創ヘルニア（創の部分が飛び出す状態）になったりすることがあります。これらのなかには再手術が必要な場合もあります。

5. 手術・検査を受けない場合、または代替可能な手術・検査:

手術を受けない場合は、腫瘍が大きくなっていく可能性が高いです。4cmを超える大きさになった場合は、部分切除術は難しくなります。免疫療法、放射線療法等もありますが、一般的な腎臓の腫瘍には、手術に比べてきわめて効果が少ないといわれています。

6. 患者さまの具体的な希望:

7. 手術・検査の同意を撤回(てっかい)する場合: 同意された後であっても手術・検査が始まるまでは、いつでもやめることができます。やめる場合には、そのことを主治医もしくは担当医にご連絡下さい。

(I D : @PATIENTID)

(@PATIENTNAMEKANJI)

8. 診療情報・材料の教育研究目的での使用に関するお願い:

関西医科大学腎泌尿器外科では、よりよい診断法や治療法の開発のための臨床研究を常に行っています。また、大学病院として学生や研修中の医師の教育(学生講義、教科書執筆、学会での教育セミナーなど)にも力を注いでいます。さらに、近年は専門医・認定医としての資格制度も多数制定され、多くの医師が取得を目指しています。これらの研究、教育、資格応募に際して、患者さんの診療情報(血液データ、画像データ、手術画像など)と診療材料(余剰血清、摘出組織の一部など)を使用しなければならないことがあります。また、治療の成績を明らかにするために、患者様の治癒状態についての調査(治療後に患者様個人宛に調査用紙を送付することや、お電話で健康状態についてお尋ねをすることも)も重要な作業です。患者さんの個人情報には厳密に保護され、氏名、住所などが診療目的以外に使用されたり外部に漏れたりすることは決してありません。御理解の上、御協力いただければ幸いです。

協力いただけるかどうかはあなたの自由で、協力しなくても診療上の不利益を受けることは決してありません。いったん協力を同意されても、いつでも撤回でき、撤回しても不利益を受けることは決してありません。.....

9. 連絡先: 関西医科大学附属枚方病院@USERFORMALSECTIONNAME 枚方市新町 2丁目3番1号、
電話 072-804-0101...

@SYSDATE

@USERFORMALSECTIONNAME 医師 @USERNAME 印

.....

関西医科大学附属枚方病院 病院長 殿

私は、上記について説明を受け、その内容を十分に理解しましたので、その実施に同意しました。
なお、この説明・同意書の写し(もしくは、説明文書とこの同意書の写し)を受け取りました。

@NENGOU 年 月 日

患者氏名 _____

住 所 @PATIENTADDRESS _____

親族又は代理者 (親権者、父母、配偶者、兄弟姉妹、保護義務者、法定代理人、
その他 _____)

氏名 _____